

平成21年度事務事業評価表	担当	企画部 秘書課	内線等	1522
---------------	----	---------	-----	------

事務事業名	市長車運転業務事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	-	施策名	-	
基本目標、施策に対する貢献度	-			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	市長車を
手 段	市職員が直接運転業務を行うことにより
成果、目標	市長の公務執行を円滑にする。

成果指標

成果指標名	市長車稼働率	1日当たりの市長車運転件数		
成果指標の説明	年間運転日数 / 市長執務日数 × 100	年間運転件数 / 年間運転日数		
指標の推移	平成20年度決算(実績)	平成21年度決算(実績)	平成22年度予算(計画)	
成果指標	77.24%	73.96%	75.86%	
成果指標	1.42件	1.45件	1.45件	

事業の概要

項 目	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
年間運転日数	224	213	220
年間運転件数	319	309	320
市長執務日数	290	288	290

事業にかかる人工

(単位：人)

H20 人工計	1.10人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.05人	係長級		一般職	1.00人	非常勤		再任用	
H21 人工計	1.10人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.05人	係長級		一般職	1.00人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	237	192	228
	人件費	6,570	6,450	
	合計	6,807	6,642	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	6,807	6,642	

事業の仕分け

B 改善を加え市が実施	説明	市長の公務執行を円滑に行うためには、専属の運転手を確保する必要があるが、効率性が低く、その対応を検討する必要がある。
-------------	----	--

必要性

必要性	A 市が実施すべき
-----	-----------

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
-----	------------------------------

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
------	-------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	副市長車の運転については運転手以外の職員で行い、専属運転手を市長車のみの一人に抑えている。 休日の運転業務については、運転手の負担を軽減するため、基本的に管理職で行っている。
現在の課題、問題点	運転業務は、正確性と安全性が最重要であるが、当日のスケジュール変更等にも対応しなければならない。また、市外への出張も多くあり、各市町村の交通状況等の把握が必要になるため、専属の運転手が必要であると考えているが、運転手の待機時間が多く、この時間に行える業務がないか検討する必要がある。
今後の改善計画	市長車の専属運転ということでは、決まった時間に運転するのではなく、市長のスケジュールに合わせ、準備及び運転業務を行うこととなる。このため、日常的な業務を行うことは難しいため、1年を通し、中長期的に行う業務の選定を行う。